

【メモ】

〈調査者〉 民部田勇、阿部丕頭

PV仲間の岡野氏が鹿角山岳会とスキツアーコース目印(竹竿等)の設置作業をするというので同行させていただいた。
この日は標高1,604mの通称「藤助森」まで往復した。

- (1) 樹氷形成状況
八幡平樹氷群は田代沼上部の標高約1,510m付近以上に形成されていた。全体にまだ痩せ気味だが、山頂周辺は完成形の樹氷群だった。
- (2) コース目印設置状況
この日は藤助森までの間に竹竿目印設置し、目印テープもコマメに取り付けた。
残る山頂及び陵雲荘までの区間については順次整備予定とのことである。
- (3) その他特記事項
秋田八幡平スキー場リフト終点から登り口のアスピーテラインに向かう途中、ふけの湯に通じる車道部が除雪されて垂直な雪壁段差約2m以上となっていたので、注意を要する。



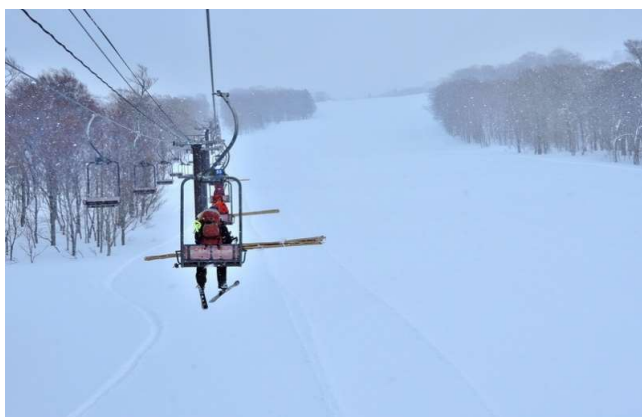
樹氷原の奥に岩手山の白い嶺が覗く (藤助森から)



八幡平頂上付近の樹氷群 (藤助森から)



藤助森から岩手山方向眺望



竹竿を抱えてリフトに乗る岡野氏と鹿角山岳会メンバー



予想もしない雪の垂直壁に一苦勞
鹿角山岳会メンバーが雪スコで階段を作ってくれた



竹竿の束を曳いて登る岡野氏



標高約1,300m付近



竹竿設置作業 標高約1,330m付近



標高約1,350m付近



標高約1,400m付近



デポしていた竹竿の掘り出し 標高約1,495m付近



竹竿等設置の手伝い
民部田氏



標高約1,510m付近



標高約1,590m付近 (藤助森)



作業参加者 藤助森にて 標高約1,604m